

## 花時計

No.28

川村学園女子大学

〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸1133番地  
Tel.04-7183-0111(代) Fax.04-7183-0115  
ホームページ <http://www.kgwu.ac.jp/>

## 遠方の草原を見よう

学務部長 本村 猛能



TAKENORI MOTOMURA

ゲーテの「ヴィルヘルム・マイスター」には岐路に立てる青年の話がある。人生は確かに長く、その間には、誰にでも二度や三度の岐路やチャンスは来ると思う。チャンスは不確定な運かも知れないが、マイスターの主人公のように、心からそれを願い続けていれば、その機会は就職であれ、その他のことであれ、必ずいつかはやってくと信じている。

私事で恐縮であるが、都内の下町の区立中学校で教師をしていたとき、全く違う環境の中学校への転勤を願っていたら他区に異動になったり、次は高校で教鞭を執りたいと思っていたら中・高教師人事交流の一環として附属高校へ異動となったりである。この間、校内暴力やいじめ、不登校など様々な問題が学校現場で多発し、我々教職員は一丸となって奮闘する毎日であった。やがてこのような状況下でも適切に対応できるような教師を育てる仕事に就きたいと願っていたところ、本学教育学部の教員としてその一步を踏み出す機会が訪れたのである。以来19年間、現場経験を踏まえながら教育に携わってきた。今思えば、これらは私の幾つかの岐路だったと思われるし、親切かつ厳しく接して頂いた恩師や先輩のお陰であったと心から感謝している。

ここで、恩師で思い出すのは、大学や大学院でお世話になったお二人の先生である。大学での恩師は、中学校教師を勤めながら大学院に通われ、その後、金属材料研究所から大学へ行かれたが、残念なことに本年岩手にて学長職半ばで急逝された先生である。芯の通ったスケールの大きい、明朗で、人情味溢れる教育者であった。また、大学院の恩師も当初中学校の教員をされていたが、その後鳥取から兵庫の大学へと異動され、都内の学長職を最後に、今は神主をされている。特に、この先生は、お会いすると決まって「遠方の草原を見よう」と言われる。身近な不愉快なことはあっさり忘れて、遠方の緑の草原を望もうというものである。この言葉は、地平線に見える草原のない我が国では実感が伴わないが、いつもすがすがしく想い出される。

昨今の不況などの厳しい現実の中、学生の皆さんにとっては就職難である。あるいは勉学やその他様々なことで悩むことも多いと思う。そんな時は、学生支援オフィスへ来て頂きたいし、自己を冷静に見つめ判断し、将来への夢を持ってほしいと願っている。そして私からも、恩師の「遠方の草原を見よう」の言葉を、皆さんにおくりたいと思っている。



## 新しい顔

## 新 任 教 員



高津 純也 文学部史学科 准教授

学生の皆さんには、職業でも趣味でもいいので、とにかく卒業後もずっと興味を持っていただける事柄を大学生生活の中で何か見つけてほしいと思います。自分は主として東アジア古代史を担当しますが、それに限らぬさまざまな話題を講義や演習の中で提供し、一人でも多くの学生のアンテナを刺激できればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



草信 和世 教育学部幼児教育学科 准教授

保育現場をフィールドとし、保育者の専門性を研究テーマとして研究活動を進めています。現場経験を生かし、理論から実践への橋渡しをしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



菅井 洋子 教育学部幼児教育学科 講師

家庭や保育所において言葉を話す前の乳児が、いかに絵本と出会い、養育者と共同で読みあうのかを探究しながら、教育・研究活動に取り組んでまいりました。幼稚園、小学校での実習経験も生かし、子どもの発達の視点から、これからの乳幼児教育について一緒に考え、学んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

## 教員の退職

史学科

帆刈 浩之 (教授)

幼児教育学科

川口 典子 (教授)

幼児教育学科

今井 邦枝 (准教授)

情報コミュニケーション学科

川名 好裕 (教授)

社会教育学科

山下 博司 (講師)



## 新 任 職 員

石原 正規  
入学支援室阿部 真依  
入学支援室石渡 ひろ子  
入学支援室小野寺 玲子  
入学支援室

## B O O K S

山本由美子 (史学科 教授)

『世界の歴史4 オリент世界の発展』

(中公文庫版)

●2009年12月25日発行

●定価1,850円(税込) 中央公論新社

『ゾロアスター教』(講談社学術文庫版)

メアリー・ボイス著 山本由美子訳

●2010年2月10日発行

●定価1,365円(税込) 講談社

西川 誠 (史学科 教授)

『総図解 よくわかる天皇家の歴史』 共著

「歴史読本」編集部編

●2009年9月25日発行

●定価1,470円 新人物往來社

松井 洋 (心理学科 教授) 他共著

『インテリ公害 -日本人の出直しのために-』

共著者の東洋大中里氏とは、長年国際比較調査を行ってきて、共に日本の社会の行く末に危機感を持つようになった。そこで、日本社会や日本人の問題の原因をインテリと呼ばれる人々の責任という切り口から考えてみたのが本書である。

●2010年2月発行

●定価1,300円(税別) グラフ社

内海崎 貴子 (幼児教育学科 教授)

天野正子編 内海崎 貴子共著

『新編日本のフェミニズム 8 ジェンダーと教育』

●2009年1月発行 ●定価2,625円(税込) 岩波書店

女性学研究会編集委員会編 内海崎 貴子共著

『女性学をつなぐー女性学研究会アーカイブー』

●2009年11月発行 ●定価1,800円(税別) 新水社

第5次松戸市男女共同参画推進協議会編 内海崎 貴子共編著

『まつど版 子育てパートナーシップ検定問題集』

●2010年3月発行 松戸市

坂口早苗 (児童教育学科 教授) 坂口武洋 (生活文化学科 教授) 他共著

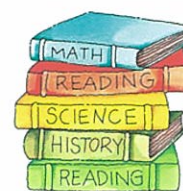
『改訂 健康・保健の科学

ー出生前からの健康をめざしてー』

健康と保健を深く理解したいと願うのは、長寿社会を実りあるものにし、たい人々の共通の思いです。次代を担う若い人々の育成に携わる方々の参考書・教科書として

●2010年3月31日発行

●定価2,730円(税込) 日本小児医事出版社





# 2011年度(平成23年度)より、 川村学園女子大学は変わります。

- 文学部に新たに日本文化学科が加わります。
- 教育学部の教員免許状取得の幅が広がります。
- 人間文化学部が生活創造学部へ変わります。
- 大学院に教育学専攻を設置。



川村学園女子大学改編組織図



※設置届出済

## ～鎌ヶ谷市家庭教育調査からわかること～

大学院人文科学研究科生涯学習学専攻 2年 小川 真幸



平成21年6月、鎌ヶ谷市における家庭教育調査を教育委員会と当大学が共同で行い、社会教育学科の学生と一緒に、調査票の作成から集計・考察までを担当する機会を得た。この調査は、市の現状を把握し青少年健全育成を検討する基礎資料を得ることを目的として行われたものであるが、市内の小学5年生・中学2年生とそれぞれの保護者、合わせて約2,000人を対象として行い、9割から回答を得ることができた。

子どもたちにとって「家庭」はとても重要な場であり親子関係が大切であるとの考えから、まず「家庭が楽しいか」と質問してみた。その結果、小学生の9割、中学生の7割が「家庭は楽しい」と答え、その理由として、「家族の会話が楽しい」や「家族に何でも相談できる」などが上位となった。家庭でのコミュニケーションがいかに大事かが明らかになった。また、家庭が楽しいと答える子どもの多くが、「親から信頼されている」や「学校も楽しい」と答える比率が圧倒的に高いこともわかった。学校生活が楽しい理由では、「友人とのこと」や「クラブ活動・部活動のこと」の比率が高いが、楽しくない理由では「勉強のこと」が最も高くなってくるのである。学校ではわかる授業が大切なことといえる。

また、保護者の調査では、「現在の家庭生活に満足している」と「子育てが楽しい」が約6割に達している一方で、多くの保護者が「子どもの勉強や進学」に関する悩みや不安を抱えていることもわかった。中学2年生の時期は進路選択を控えているためか、その比率が特に高くなり、子育ての辛い要因としては「養育費の問題」や「子育てに対する根気が必要なこと」などを挙げている。お金のことも含めて、子育ては長い目で育んでいくことの大変さが伝わってくるのである。

近年、体験活動の必要性やその重要性が指摘されているが、ボランティア活動や地域活動、キャンプなどを一度も経験したことがない子どもたちが多くいる実態も明らかになった。人生において、子どもの頃の本物体験がいかに大きく影響するかは経験上明らかなことであるが、一方的に子どもに押しつけるだけではいい結果は生まれないし、まずは保護者が一緒になって体験をすることを考えてみたらどうであろうか。同じ環境を共有することによって話題が生まれ、子どもとの信頼関係は深まり、楽しい家庭となってよりよい家庭環境が築けるのではないだろうか。





## 東京オープンテニス選手権準優勝

国際英語学科 1年 上吉原あい

先日、有明テニスの森で行われた第46回東京オープンテニス選手権で準優勝することができました。東京オープンにはプロの方も出ているぐらい大きな大会なのでとても嬉しいです。また、決勝に行けるとは思っていなかったので、自分でも驚いています。私は今年の2月に、1カ月間アメリカに一人で遠征に行ってきました。日本より選手のレベルも高く、トレーニングも厳しかったのですが、世界のトップを目指す同世代の選手とともに過ごしたことが、私に大きな刺激を与えてくれたのだと思います。英語力が伸びたのはもちろん、テニスも上達しこの様な結果が出たのだと思います。これからも、もっと活躍できるように頑張りたいと思います。

写真はアメリカのジュニアの大会で準優勝したときに撮ったものです。(※\_※)

史学科 2年 大形 遥

私は大学に入ってからたくさんの友達できました。毎日楽しい大学生活を送っています。私が1年生から学園祭実行委員会に入っていたせいかもしれません。おかげで他学科の友達もできました。

委員会では、参加団体係で、部活やサークルなどの団体をまとめる仕事をしています。去年は先輩に頼りっぱなしでしたが、今年は中心となって仕切っていく立場となりました。参加団体をまとめるなかで自分自身も成長していきたいです。みんなでどんな学園祭をつくっていけるか楽しみです。

まだまだ分からないこともたくさんあり、至らない点もあると思いますが、他の実行委員と助け合い、協力して、みんなが楽しめる素晴らしい学園祭になるように頑張ります。



## イサドラ・ダンカン・ダンス 優秀賞受賞

幼児教育学科 2年 枝朋美 村田沙也佳

2010年2月、オリンピック記念青少年総合センター小ホールで第20回東京都専門学校・大学ダンス発表会が開催されました。

私たちはこの発表会に出演し、ダンカン・ダンス作品「ワルツ・スタデイ」と「ナルシス」を踊りました。このダンスは自然さを求められるものであり、バレエとのテクニックの違いに苦労しました。「ナルシス」のダンスはギリシャ神話をもとにダンカン独自の解釈によって振付けられた作品です。ギリシャ神話についてとても興味を持ち、「ナルシス」を自分なりに表現して踊るよう努力しました。その結果、優秀賞を受賞することができ、大変嬉しく思います。

## あびこ楽校協議会委員として活動

石原絵里 (平成21年度 社会教育学科卒業)

私は大学2～4年の3年間、あびこ楽校協議会委員として活動していました。あびこ楽校協議会では生涯学習を広めるために、あびこ楽校フェスティバルを行っています。昨年のフェスティバルでは、「習う心があなたを変える」というテーマで生涯学習センター「アビスタ」や大学等で様々な企画を開催しました。

私は広報として、あびこ楽校ニュースやチラシの作成、さらにはアビスタに展示する企画紹介の展示物を作りました。チラシや展示物作りでは、どのようにすれば多くの人に見てもらえることができるかを考えて、デザインをしました。私はこの協議会の活動を通して、生涯学習の企画や実践することの楽しさを知った反面、相手の立場にたって考えることの大切さや運営などの難しさも実感しました。



観光文化学科 4年 井藤礼穂

2010年5月5日、東京芸術劇場で、第一回定期演奏会が行われました。わたしが所属する団体、デアクライス・プラスオルケスターは、2009年に創団した社会人バンドです。初めての定期演奏会は、世界的にも活躍されているユーフォニアム奏者の外園祥一郎氏を迎えました。わたしは、フルートを演奏し始めてから10年ですが、このようなビッグなゲストとの合わせは、人生の中でも大変貴重な体験でした。記念すべき第一回に備え、楽器の練習を増やし、宣伝活動も積極的に行いました。その結果、1,999人のホールに、1,199人ものお客さんが来場してくれました。入場した時、その人の多さに鳥肌が立ちました。演奏会は、多少事故もありましたが、無事終了。今回の本番の裏には、多くの人の協力がありました。それに感謝しつつ、これからも音楽を続けていきたいと思いました。



# 輝いている学生たち

## ダンスボランティアを通して

児童教育学科 3年 額賀有花

私は、昨年从我孫子特別支援学校でダンス指導のボランティアをしています。この学校では、生徒に対し教師が二人に一人つけるほどたくさんいます。しかし、十数名もいるダンスクラブの指導を、私を含め4人ですることは大きな不安でした。教え始めると、子どもたちは素直に教えたことを吸収してしまうので、あやふやな指導をすることは、とても申し訳ないことだと感じました。また、保護者の方々が一致団結して協力してくださることに、これほど感謝の気持ちを抱いたことはありません。これも全て子どもの健やかな成長を願った「愛」です。私は、「愛」こそボランティアをやる意味なのではないかと、この経験から学ぶことができました。



社会教育学科 4年 沖田 恵

私は、今年の5月から情報探索アシスタントとして、大学の図書館でボランティアをしています。情報探索アシスタントは、司書資格科目の授業で学んだことをもとに、図書館内で学生からの情報探索の相談に乗るボランティア活動です。

お昼休みに、マガジンプラス（雑誌記事データベース）と集密書庫の利用講習会も行っています。初めてのマガジンプラスの講習会では、参加した学生からはマガジンプラスとは何か、検索するときのポイントは何かなどの質問をされました。これらの質問に答えることはできたものの、司書の方から補足説明が必要でした。これからは、学生からの質問に対して、自分の言葉で十分な答えを返せるように頑張っていきたいと思っています。



心理学科 4年 江良有璃子

私は、現在就職活動を進めながら、蓮見先生のゼミで幼児の遊びと生活に関する卒業論文を制作しています。

せっかく大学に入学したのだから、学生のうちにしかできないことを経験しておきたい、というように考え、これまでに様々な活動に参加してきました。

茶道部では、2年生の時に始まった他大学の茶道部との交流活動に積極的に参加し、渉外として学外と学内の橋渡し役を担ってきました。

学科内のボランティアでは、鶴沼先生の心理統計法補習のアシスタントやTAに参加しました。後輩に教える事で、自分自身の理解を深める事ができたため、とても有意義な時間でした。

また、SAセンターの立ち上げにもかかりました。他学科のメンバーとコンセプトを考える事から始め、開設した後も学生の為になるイベントを企画してきました。

他にもオープンキャンパススタッフや学外でのボランティア活動などにも積極的に参加し続けています。多くの活動を通じて学内に知り合いが増え、充実した大学生活を送る事ができて、よかったと思います。



生活文化学科 3年 佐藤友紀

私は現在、校外でボランティア活動を行っています。今年4月には茨城県小美玉市の、桜フェスティバルという祭典の実行委員を務めました。半年前から会議を重ね、テーマやイベント、時間帯などを一から決めていきました。私の担当はメニュー当てクイズだったので、小さなお子様からご年配の方まで楽しめるルール作りが難しかったです。当日は二千人以上もの来場者を迎えることができ、行列ができる程の盛況ぶりでした。忙しさのあまり実行委員が先に答えを言ってしまうというハプニングもありましたが、地域の人との交流が深まった良い経験でした。また、何度も来てくれる女の子の「楽しい」の一言で半年間の苦労が報われ、喜びも感じられました。最近では企画、実行力を養う為、社会に通用する人材教育を目的とするチームに所属し活動しています。これからもボランティアを通じて経験を積み、人間的に成長していきたいです。



# 学 科 ニ ュ ー ス

## ●幼児教育学科

今年度、幼児教育学科では、幼児教育体験学習の内容を一新しました。昨年度から附属保育園の協力により保育実習体験ができるようになり、この講座を事前事後の指導と位置づけたからです。学生の教育実践力を高めるために、全教員が協力して、総合的な学びの実現を実現したいと考えました。

これまで花やトマト・キュウリの栽培を行い、育てることを体験し、世話や関心をもつことの重要性について学んでいます。また、お手玉をつくりそれを使って遊んだり、指編みでマフラーを編むなどの活動をしています。学生たちは、夏・冬休みの実習に向けて全身で学び、子どもたちの気持ちが分かる教育者を目指しています。



## ●心理学科

心理学科では、基礎的な研究から実践的な応用研究までのさまざまな研究活動とそれらを活かした教育がおこなわれています。臨床分野の蓑下研究室では、人間が顔や表情をどのように認知するか、についての研究をもとにして、その臨床的応用をおこなっています。同研究室が開発し、新聞などでもしばしば



報道されてきた「能面テスト」は、すでに100件以上の精神鑑定に利用されており、また他大学との共同のベンチャーとしても注目されています。この研究には学部や大学院の学生も参加しており、心理学教育の教材ともなっています。

## ●史学科

帆刈浩之先生がご病気で退職され、沖縄に引っ越されました。かわって中国古代史の高津純也先生をお迎えしました。また、20年度で退職された金澤周作先生が、ご勤務中に本学からの奨励金も受けて出版された『チャリティとイギリス近代』に対して、社会福祉に関する学術文献を表彰する第11回損保ジャパン記念財団賞が授与されました。写真は授賞式の時のものです。



## ●情報コミュニケーション学科

情報コミュニケーション学科は4年生のみ在籍していますが、就職活動と卒業研究を中心として、充実した日々を過ごしています。就職活動は例年になく厳しい状況ですが、意欲的にチャレンジする学生が多く、内定もいただいています。学科の特徴である、情報技術やコミュニケーションに関連した科目も最終学年にふさわしい内容の授業となり、以前にもまして熱心に取り組む学生がいます。4年生は卒業論文に取り組んでいますが、それぞれが決めた研究テーマについて、先生がたの指導の下、これまでの授業や演習などで培った知識や技能をより深く掘り下げることで、学生生活の総括といえる論文の作成にむけて努力しています。

## ●日本文化学科

新入生もそろそろ新しい環境に慣れてきた5月12日、第2回オリエンテーションのランチパーティーが開かれました。今年度前期の留学生、陳姿彤さんも一緒に楽しく歓談しました。

陳さんは授業にも積極的に参加（写真）、発表や意見交換では、お互いに文化の違いや共通点の発見があります。文化の近い台湾と日本には考え方や習慣に重なるものがあると実感します。

いま人間文化学部にある日本文化学科は、来年度から文学部に移籍します。これまでとすっかり変わってしまうわけではありませんが、カリキュラムがスリムになりました。《言語学科》と《芸術・文化財系》の柱を建てました。元気な学生の入学を期待しています。



## SAセンターについて

SAセンターを立ち上げて1年がたちました。

1年間を通じて、お花見ランチ、簡単レシピ、ネイル教室、浴衣着付け教室、花火大会、バーベキュー等のイベントを行いました。はじめは、運営に戸惑ったり、思うように進まなかったこともありましたが、徐々に自分たちが好きなことを企画して行うことの楽しさに気付いた1年でもありました。

また、SAセンター内のフリースペースは、クラブの展示会、ライブ、ミーティングなどにも活用されています。

今年も色々なプチイベントやレクリエーションを企画しています。雨の日を楽しく過ごすイベントとして「シュシュをつくろう」、お料理教室（7月1日（木）予定）等を計画中です。

また、SAに参加希望の学生も随時募集しております。興味のある方は、是非SAセンターに来てください。お待ちしております。

## 学園祭

### 《鶴雅祭》についてのお知らせ

今年は10月16日（土）と17日（日）の両日に開催を予定しています。

是非、より多くの皆様方にご来場いただきたくご案内いたします。卒業生や同窓会の方も奮ってご参加ください。お待ちいたしております。



## 卒業生みなさんへ

ホームカミングディを開催いたします。ご家族お揃いでお越し下さい。

と き 10月17日(日)

鶴雅祭 2日目 11:00より

ところ 本学 我孫子キャンパス

詳細については本学ホームページをご覧ください。



# オリエンテーション レポート

## 国際英語学科

英語ガイドによる都内バスツアーを行いました。明治神宮、国会議事堂、皇居を巡り、浅草では浅草寺と仲見世を見学。バスの中では英語ガイド・通訳という仕事についてのお話も聞き、英語を使う仕事にますます興味がわきました。昼食は池袋サンシャイン59階で素晴らしい眺望と美味しいバイキングを楽しみました。



## 児童教育学科

松戸市「21世紀の森と広場」では自然の広い空間にさまざまな種類の野鳥が来る池をはじめ、パークセンター、大ホールや博物館などをゆっくり見学。林の中に復元された縄文時代の竪穴式住居内での学習や綿花を紡ぐ体験はみんなが楽しめて、とても印象に残りました。



## 社会教育学科

日本近代教育発祥の地である上野公園に出向き、社会教育研究機関である国立教育政策研究所社会教育実践研究センター、国際こども図書館（平成12年設置）、日本で最も古い上野動物園（明治15年開園）の3か所を訪ねました。あいにくの空模様でしたが、学生たちは多くのことを

学ぶとともに、新しい友人を得て自信につながったようです。



## 日本文化学科

4月7日（水）、新入生35名全員で、江戸東京博物館の常設展を見学しました。歌舞伎のどんでん返し装置、人力車...etc.

前輪が2階ほどもある自転車にはびっくりしました。昼食に中華のフルコースを頂きながら自己紹介。悪天候でしたが、旧安田庭園も散策し、楽しい1日でした。



## 生活文化学科

今年は、『江戸の生活文化に触れる』をテーマにオリエンテーションを実施しました。両国国技館内の相撲博物館、江戸東京博物館を巡り、相撲の貴重な行司装束や軍配、江戸へ今に移るまでの庶民の生活や娯楽に触れ見識を深めました。昼食は第一ホテル両国にて、ビュッフェスタイルのマナーを学びながら、ちゃんこ鍋や寿司など両国の味やいろいろな料理を楽しみました。学生同士や教職員との親睦を深められ、学生たちは「みんなと近くなった感じ」とか「友達できました」と喜んでいました。



## 史学科

4月7日の第1回オリエンテーションでは、さいたま市の鉄道博物館と氷川神社に行きました。氷川神社のかわいいお守りに盛り上がり、2日のガイダンスで一緒に食事をしていたこともあり、早くから友達を見つけることができました。5月8日の第2回は、上野の東京国立博物館の平常展見学と、バイキング形式の昼食でした。博物館は時間が足りず、あらためて歴史の多様さを実感しました。



5月8日の第2回は、上野の東京国立博物館の平常展見学と、バイキング形式の昼食でした。博物館は時間が足りず、あらためて歴史の多様さを実感しました。

## 心理学科

心理学科では、新入生と教員がガイダンス最終日に茨城県笠間市の笠間芸術の森公園までバスで移動して親睦を深めました。あいにくの雨模様でしたが、陶芸製作を体験しながら交流を深めることができました。大学生活の第一歩として、有意義な一日を過ごすことができた様子でした。



## 幼児教育学科

桜のトンネルに色とりどりの花々。幼児教育学科は美しいアンデルセン公園へと出かけました。先輩と語らいながら公園を散策したり、キャンドル作りも行いました。「おやゆび姫」の可愛いスタジオを見学し、アンデルセンの世界を満喫した一日でした。これから幼児教育を学ぶ新入生にとって夢が大きく膨らんだことでしょう。



## 観光文化学科

「産業観光」という新しい観光のあり方を知るために、「麒麟ビアパーク取手」でビール工場見学、柏の「あけぼの山農業公園」でチューリップ畑などを見学後、パーベキューを楽しみました。その後、ボランティアガイドの方の説明を受けながら我孫子市内を見学しました。





## 卒業生は今

●●● MAILBOX

## 戸部 みか

国際英語学科 2008年卒



教師になって早くも3年目に突入しました。昨年1年生で初担任を経験し、今年は2年生を担当しています。新しいクラスにもすっかり慣れ、先日は本校の3大行事のひとつの運動会が無事に終わりました。学年ごとに、優勝・準優勝を決めます。今年は残念ながら3位という結果でしたが、全員リレーでは1位をとり、クラス中が盛り上がりました。一生懸命に取り組む姿には感動します。

公立中は、教科指導よりも事務・生徒指導・行事の準備に費やすエネルギーのほうが遥かに多いように思います。でも、人生の中で成長著しい中学生を育てるという、責任のある仕事にやりがいを感じます。川村学園女子大学で学んだことを生かして、日々精進していきたいと思います。

## 長谷川 尚美

社会教育学科 2008年卒



教職を目指していた私は、卒業後の2年間を特別支援学

級の補助教員として働いてきましたが、生徒たちからは教育の基礎的な部分をたくさん学ぶことができたと思っています。

この経験が生かされた結果でしょうか、受け続けていた教員採用試験に合格し、この4月から正教員として採用され、今、中学社会科を教えています。学校現場は初めてではないとはいえ、今までとは違う環境にただただ翻弄されています。忙しい毎日ですが、それでも頑張ろうという気持ちにしてくれるのは子どもたちです。「授業が楽しかった」と書いてある生徒のノートを見るのはうれしく、毎日の活力となっています。現場の先輩方から学ぶことばかりですが、向上心を持ち続け、精一杯頑張りたいと思います。

## 斉藤 麻衣

観光文化学科 2009年卒



私は旅行会社（近畿日本ツーリスト）で法人営業をしています。企業のイベントや旅行を企画提案し、自ら添乗にも行きます。今年はW杯の仕事を主に取り扱い、南アフリカに添乗員として行くことも決まりました。目に見えない、「旅行」という商品を売るのは大変なことばかり

です。しかし、感動をお客様と一緒に感じる事ができ、お客様の思い出を創造できる本場に魅力のある仕事です！

かつてCMで「モノより思い出」というキャッチコピーがありましたが、まさに旅行会社はモノより思い出を売る素敵な職業です。

## 外川 圭美

生活文化学科 2009年卒



私は、都内の病院に入職し看護部長室秘書として働いています。

主な業務は、来客時の対応やスケジュール管理に加え、看護師採用活動、看護部と総務課の窓口業務等を行っています。職場では、忙しい中でも懇切丁寧に指導してくださる方々に囲まれ、とても良い雰囲気の中で楽しく仕事をしています。

入職してから、日々新しい発見と学ぶことの積み重ねです。様々な変化に対応できる柔軟な考えで、向上心を持ち迅速かつ丁寧に業務にあたることを心がけて頑張っています。どんなに小さな仕事にも意味があり目的があるということを常に念頭に置き、これからも探究心を忘れずに取り組んでいきたいです。

## ● ツヴァイディメンショナル

ツヴァイディメンショナルは、絵や漫画、小説を読んだり書くのが大好きな人たちが集まった部活です！

主な活動は、毎週部会を開いて部員同士で交流したり、部誌を作成しています。10月に行われる学園祭では、部誌やラミネートカードを作成して配布したり、イラストボードを描いて展示しています。その学園祭に配布する本のために、夏休みに『漫画講座』を開催し、初めて漫画を描く人のために原稿の使い方などを教えています。

時には、コミックイベントに参加することもあり、部員ひとりひとりが頑張っています。

◆活動日：毎週金曜日 お昼休み（12時～）  
興味のある方は、お気軽にご連絡下さい！

E-mail zweidimensional@mail.goo.ne.jp



## クラブ活動報告

## ● わくボラ♪たんぽぽ（生涯教育研究会）

こんにちは！わくボラ♪たんぽぽ（生涯教育研究会）です。現在、私たちは3年生7名、2年生4名、1年生1名の計12人で活動しています。

3月に行われた市民活動フェアでは、チラシ配布や総合案内の受付などのお手伝いとして参加しました。その他にもenjoy手賀沼、福祉祭りなどの様々なイベントのお手伝いをしたり、またその中でバルーンアートの配布を行ったりしています。もちろんそれだけでなく、ひだまり、Jr.スタッフクラブといった子供たちを対象とした施設の活動にも参加しています。

ボランティアや福祉に興味のある方、子供が好きな方は是非一度、見学にいらしてみてください！お待ちしております。



## ● バドミントン同好会

こんにちは、バドミントン同好会です。私達は現在3年生はいませんが1年生8人、2年生5人、4年生8人の計21人で1年生～4年生まで楽しく活動しています。去年は人数が少なくこのままだと廃部の危機でしたが今年はなんとか乗り越えることができました。

活動内容は、ウォーミングアップで基礎打ちをしてから、2人組みになってペアを決め試合を行います。初心者には、経験者からの丁寧な説明があるので大丈夫です。

少しでもバドミントンに興味のある方、運動をしたいなという方、毎週火・木曜日なら見学・体験も出来るので是非見に来てください。もちろん、初心者の方も経験者の方も大歓迎です。

そして私達と一緒に汗を流し、楽しく充実したキャンパスライフを送ってみませんか？

部員一同心からお待ちしております。



## 編集後記

●今回、初めての企画で大学内外で活躍している学生を紹介しましたが、本学にはたくさんの輝いている学生がいることがわかってうれしかったです。(K.K.)

●川村には輝く学生達があちこちにいますね！(N.O.)

●学生のみなさんの活躍をこれからももっとお伝えしたいですね。(K.T.)

●新企画がありましたが、大過なく予定通り発行できてよかったです。(M.H.)

発行日/平成22年7月12日第28号発行  
制作/川村学園女子大学広報委員会